

氏名 (生年月日) 葛 岡 八 重 子
クズ オカ ヤ エ コ
 本 籍
 学位の種類 医学博士
 学位授与の番号 乙第 225号
 学位授与の日付 昭和51年 3月19日
 学位授与の要件 学位規則第5条第2項該当 (博士の学位論文提出者)
 学位論文題目 羊膜索を伴った多発性奇形の解剖学的研究
 論文審査委員 (主査) 教授 久保田 くら
 (副査) 教授 飯沼 守夫, 教授 石津 澄子

論 文 内 容 の 要 旨

研究目的

E.Schwalbe が羊膜の異状によつて発生する奇形を羊膜性奇形と総称し、以後ごく希にはあるが羊膜の索状ないし糸状形成および癒着による奇形例の報告がなされている。しかしその成因および発生についてはなお不明である。たまたま5カ月胎齡の男胎児を解剖する機を得たので、複雑で且多発性奇形に対し、いささかでもその解明の手段になればとの目的をもつて解剖に着手。

研究対象

胎齡5カ月の母体内死亡の男胎児

所見

1. 骨格系 頭蓋冠の欠如, 脊柱の異常 (脊椎破裂), 鎖骨の形成異常, 胸郭の形成不全 (胸骨破裂), 右下肢の内反足。
2. 顔面 両側兔唇, 両側口蓋破裂, 顔裂, 左耳形成

不全。

3. 各器官 両側肺形態異常 (分葉異常), 肝臓形成不全, 胆嚢不明, 腸管の回転不良, 鎖肛, 左右腎臓の融合と位置異常, 精巣は不明, 外陰部右側偏位, 腎上部における副腎はみとめられない。心臓形成不全および諸血管の異常, 単一臍動脈, 臍帯の形成異常等。

4. 体腔および腸間膜, 横隔膜形成不全, 心膜・胸膜腔および腹腔閉鎖不全, 腸間膜根異常。

5. 神経系 脳脊髄破裂等。

以上のごとく複雑且多発性奇形を1個体に有する例は希である。なお, かくも奇形が広範囲にわたつてはいるが, 動物発生の一つのレールの上で抑制されているかのごとく考えられる奇形は極めて興味深い。今後の奇形の研究に一役を果すことと思われる。

論 文 審 査 の 要 旨

本論文は羊膜の異常を伴う先天異常である多発性の奇形を, 緻密に解剖し, 極めて複雑で難解な本奇形の現象形を, 各器官および各系統に分類し, 意義づけをおこなつたもので, 未だ不明であるこの種の奇形の成因究明に重要な役割を果し得るものと思われる。

主論文公表誌

羊膜索を伴った多発性奇形の解剖学的研究。
 東京女子医科大学雑誌 第46巻 第1号 13~
 28 (昭和51年1月25日発行)

副論文公表誌

- 1) 緑膿菌性化膿性脳膜炎の一例。
 児科診療 5 (6) 431 (昭14)
- 2) 脳炎後遺症に対する人工気脳法の治療的応用に就

て。

- 児科診療 7 (3) 150 (昭16)
- 3) Behçet症候群と気象。
 東女医大誌 36 (12) 716 (昭41)
- 4) 現行 BCG 経皮接種法と従来 of 皮内接種法との比較 (第5報)。
 東京都衛生局学会誌 No. 51 152 頁 (昭48年6月)